第90号

本巣市議会だより

contents

令和8年第1回定例会開かれる……P. 2
審議結果……P. 3
委員会活動……P. 4
議員研修……P. 8
10人が一般質問に立つ……P. 9
議員活動日誌、議会開会のお知らせ、意見募集…P.13
特集……P.14

表紙は「セントラルゾーン」周辺写真だも。
最終ページで特集してるも。

本巣市議会だよりは議会ホームページからもご覧いただけます。

行政情報アプリ「マチイロ」スマホやタブレットにアプリで議会だよりをお届けします。

●発行：本巣市議会 ●TEL：058-323-8103 ●2026年5月1日

「写真提供 岐阜国道事務所」

令和8年第1回定例会開かれる

2月18日～3月18日、令和8年第1回定例会を開き、人事案件6件、条例10件、
補正予算5件、当初予算6件、その他6件、議員発議1件について審議・決定しました。

◎令和8年度本巣市当初予算

令和8年度における本巣市の当初予算は下表のとおりとなりました。
広報もとす4月号に詳しい内容が掲載されていますので、そちらもご覧ください。

会　計　名		予算額	前年度比較	増減率
一般会計		193億1,000万円	△9億4,000万円	△4.6%
国民健康保険特別会計	事業勘定	32億200万円	△1億4,200万円	△4.2%
	施設勘定	1億5,500万円	△2,500万円	△13.9%
後期高齢者医療特別会計		6億9,500万円	9,800万円	16.4%
企業用地造成事業特別会計		5億3,500万円	2億500万円	62.1%
水道事業会計	収益的収入	8億8,400万円	△5,400万円	△5.8%
	収益的支出	8億6,700万円	△4,100万円	△4.5%
	資本的収入	2億6,547万円	△1億1,597万円	△30.4%
	資本的支出	6億1,140万円	△1億1,311万円	△15.6%
下水道事業会計	収益的収入	12億1,100万円	△4,200万円	△3.4%
	収益的支出	3億1,100万円	△4,200万円	△3.4%
	資本的収入	3億8,603万円	2,193万円	6.0%
	資本的支出	5億8,101万円	6,365万円	12.3%
予算総額		271億6,741万円	△9億3,646万円	△3.3%

予算総額減額の主な要因としては消防署整備事業が
完了したことによるものだも。

「議案第２３号　令和８年度本巣市一般会計予算について」の討論内容

一般会計予算に対して行われた討論の一部をご紹介します

反対

弱い立場の方達への予算額を減らす事業が多くあり、未来を担う子どもたちの安全のための予算が計上されてないなど、とても市民は納得しないと思われます。

財政が厳しいなら財政を豊かにする政策を考えるべきで、この予算案にはとても賛同できません。

賛成

子どもの一時預かりの条件の見直しや、熱中症対策の予算が含まれていないことは直ちに見直しを要望したいところです。ただ市民生活を維持するための重要な予算が入っており、まずは予算を執行した上で、財政を豊かにする政策を盛り込んだ議論を今後も期待します。

※討論・採決の結果、この議案は可決となりました。

議案および審議結果等

議案番号	議案名	議案の概要
報告第1号	専決処分の報告について（防犯灯支柱の折損事故に係る損害賠償）	本巣市法林寺地内で発生した防犯灯支柱の折損事故について専決処分をしたので報告するもの。

【表示記号】　「○」･･･賛成　「×」･･･反対　「－」･･･欠席・除斥等による不参加　「／」･･･議長のため採決に加わらない

令和8年第1回定例会

	議案番号・議案名等		付託委員会	議決結果	坂下 裕久	堀田 靖則	翠 昭博	髙橋 知子	瀬川 照司	飯尾 龍也	片岡 孝一	髙橋 時男	澤村 均	髙橋 勇樹	今枝 和子	髙田 浩視	河村 志信	鍔本 規之	臼井 悦子	大西徳三郎
市長提出議案	議案第1号	人権擁護委員候補者の推薦について 人権擁護委員候補者を推薦することについて、議会の意見を求めるもの		同意	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○
	議案第10号	本巣市ねたきり老人等介護者慰労金支給条例の一部を改正する条例について ねたきり老人等の慰労金の支給月額を変更し、本事業を持続可能な支援として実施していくため、条例改正するもの	文	可決	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○
	議案第19号	本巣市過疎地域持続的発展計画の変更について 現計画が令和7年度で終了するため、計画を変更するもの		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	×	○	○
	議案第23号	令和8年度本巣市一般会計予算について 2ページに記載（詳細は広報もとす4月号をご覧ください）	予	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	×	○	○
	議案第24号	令和8年度本巣市国民健康保険特別会計予算について 2ページに記載（詳細は広報もとす4月号をご覧ください）	予	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	×	○	○
	議案第29号	本巣市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について 上位法の公布による政令の改正に伴い、補償基礎額や加算額について、条例改正を行うもの		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	×	○	○
発議議員	発議第1号	議案第23号　令和8年度本巣市一般会計予算に対する附帯決議について 根尾地域外出支援事業及び国民健康保険操出金について、予算の適正な執行と、議会への報告を求めるもの		否決	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	／	○	○	×	×	×

令和8年第1回定例会　（全会一致で可決・認定された議案）

	議案番号	議案名	付託委員会	議案の概要
市長提出議案	報告第2号	専決処分の承認を求めることについて（令和7年度本巣市一般会計補正予算（第6号））		専決処分により1億205万円を増額し、今年度総額213億7,365万円（物価高対応子育て応援手当支給事業によるもの）
	報告第3号	専決処分の承認を求めることについて（令和7年度本巣市一般会計補正予算（第7号））		専決処分により4億2,738万円を増額し、今年度総額218億103万円（物価高騰緊急経済対策事業などによるもの）
	報告第4号	専決処分の承認を求めることについて（令和7年度本巣市一般会計補正予算（第8号））		専決処分により1,397万円を増額し、今年度総額218億1,500万円（衆議院解散に伴う選挙によるもの）
	議案第2~5号	人権擁護委員候補者の推薦について		人権擁護委員候補者を推薦することについて、議会の意見を求めるもの
	議案第6号	本巣市教育委員会委員の任命について		本巣市教育委員会委員を任命することについて、議会の同意を求めるもの
	議案第7号	本巣市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について		令和7年8月の人事院勧告及び栄養士法の改正に伴い、通勤手当及び管理栄養士の規定について条例改正を行うもの
	議案第8号	本巣市職員等の旅費に関する条例の全部を改正する条例について		上位法の改正に伴い、旅費計算の簡素化や支給対象の見直し、及び適正な支出の確保のため条例改正を行うもの
	議案第9号	本巣市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	文	上位法の改正に伴い、国民健康保険税率等の改定を行うため、条例改正するもの
	議案第11号	本巣市景観条例の一部を改正する条例について	総	本巣IC及び本巣PA周辺地区について、新たな都市計画を創出するにあたり、条例改正を行うもの
	議案第12号	本巣市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例について	文	上位法の改正に伴い、本市における特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定めるため、条例を定めるもの
	議案第13号	本巣市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について		乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準の一部が改正されたことに伴い、条例改正を行うもの
	議案第14号	本巣市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について		関係する内閣府令の施行に伴い、利用乳幼児及び職員の健康診断に関する規定の追加などの条例改正を行うもの
	議案第15号	児童福祉法等の一部を改正する法律に伴う関係条例の整理に関する条例について		上位法の改正に伴い、引用する関係条例において、所要の改正を行うもの
	議案第16号	本巣東辺地に係る総合整備計画の変更について		辺地対策事業債の予定額を変更する必要が生じたため、計画を変更するもの
	議案第17号	根尾東辺地に係る総合整備計画の変更について		辺地対策事業債の予定額を変更する必要が生じたため、計画を変更するもの
	議案第18号	根尾西辺地に係る総合整備計画の変更について		辺地対策事業債の予定額を変更する必要が生じたため、計画を変更するもの
	議案第20号	指定管理者の指定について	文	本巣市障がい者就労支援センター2施設の指定管理期間終了に伴い、本巣市社会福祉協議会を再指定するもの
	議案第21号	令和7年度本巣市一般会計補正予算（第9号）について		2億977万円を増額し、今年度総額220億2,477万円（戸籍などの氏名の振り仮名追加事業などによるもの）
	議案第22号	令和7年度本巣市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）について		2,025万円を増額し、今年度総額6億1,855万円（保険料収入の増額などによるもの）
	議案第25号	令和8年度本巣市後期高齢者医療特別会計予算について	予	2ページに記載（詳細は広報もとす4月号をご覧ください）
	議案第26号	令和8年度本巣市企業用地造成事業特別会計予算について	予	〃
	議案第27号	令和8年度本巣市水道事業会計予算について	予	〃
	議案第28号	令和8年度本巣市下水道事業会計予算について	予	〃

広報もとす4月号はこちらから▶

付託委員会欄の「総」は総務建設委員会、「文」は文教福祉委員会、「予」は予算決算委員会への付託を表します。

委員会活動

・高齢者外出支援事業（見直し）1,325万円
①交通系ICカードチャージ代の助成も選択可能にし、公共交通機関を使用した外出を支援

Q：制度を変更した理由は

A：タクシー券は使い切れない方が多く、交通系ICカードに変えることで外出支援につながると考えました。

Q：タクシー料金が上がるなか、タクシー券の利用上限変更の考えは

A：来年度は現状どおりで、利用者の声があれば検討します。

Q：交通系ICカードのチャージ代はどういう形で支給するのか

A：申請に基づき、口座に3,000円を振り込みます。チャージは本人にお願いする形となります。

①交通系ICカードとは、電車やバスにタッチするだけで乗れて、買い物にも使える電子カード。

・就学等支援金支給事業（新規）831万円
就学等の節目を迎えた児童の保護者に支援金を支給し、経済的負担の軽減を図る

Q：事業の内容と金額は

A：県の事業廃止を受け、市独自でお祝い金を小1に1万、中1に2万、高1に3万円を令和9年度より支給します。

【市民部関係】

・市税収入について

Q：法人市民税が均等割の増額に対し、所得割が少ない要因は

A：法人数は増加してるものの、物価高騰や賃金上昇の影響があるためです。

Q：固定資産税の「償却資産」が増えている要因は

A：企業の設備投資の増加が大きいため、増額を見込んでます。

予算決算委員会　※議長を除く15名

主な質疑の内容

○令和8年度本巣市一般会計予算について

【健康福祉部関係】

・重層的支援体制整備事業（拡充）1,053万円
高齢・障がい・子育て・生活困窮において、新たに参加支援を加え、包括的な支援体制を整備

Q：拡充する事業の内容は

A：相談支援事業では、各分野の専門機関が連携し、支援プランを作成し就労などにつなげます。また参加支援では、積極的なアウトリーチをかけながら集いの場への参加を促し、就労に結び付けたいと考えます。

・障害児施設給付費給付事業（拡充）3億6,062万円
放課後等でサービスの需要増に対応するため、事業を拡充

Q：受給者証は3月に更新したばかりの人も含め全員行うのか

A：相談支援員の計画を総合的に勘案して支給量を増やすということなので、待てる方は待っていただくなど柔軟に対応したいと考えてます。

Q：支給日数を現行から増やした理由は

A：全国的に国基準の最大23日を出している自治体が多い現状があり、サービスの公平性を図るため国基準に基づき変更するものです。

Q：発達の程度に応じて支給日数を決める指標は、今後作成予定か

A：提出書類などを総合的に判断して日数を決定していきます。

Q：施設増設が必要な場合、補助金はあるか

A：ハード面整備については国2分の1、県4分の1の補助があります。

・シニア元気いきいき事業（拡充）408万円
令和8年度よりぬくい温泉入浴券を500円券が5枚つづりになった回数券を配布

Q：事業内容を見直す理由は

A：経済状況やフレイル予防を考え、来年度からは500円分の入浴券を3,000セット配布する内容に改めます。

Q：今後、空きのある他園を活用した「余裕活用型」への転換は

A：今回は専用の部屋を設ける形をとりましたが、「余裕活用型」についても検討します。

・幼児園等照明LED化事業（新規）5,597万円
蛍光灯照明器具を高効率で高輝度なLED照明に更新することで、こどもが快適に過ごせる環境を整備

Q：今回、購入との事だがリースとの比較はしたか

A：リース方式も検討しましたが、購入方式であれば地方債の充当率も高く、市の負担を抑えられるため判断しました。

Q：LED化することで金額に見合うメリットがあるか

A：糸貫西幼児園は築10年以上経過し、器具の劣化による発火の恐れがあるため、丸ごと交換します。

・中学校屋外運動場南地整備事業（継続）274万円
真正中学校グラウンド南側の土地について、借地契約を締結し、一体的に使用できる施設として整備

Q：借地部分も一体的に整地されるか

A：高さを合わせて一体的に使えるよう計画してます。

【都市建設部関係】

・耐震シェルター補助事業（新規）30万円
迅速な避難が困難な高齢者などの安全を確保し、災害時の被害軽減を目的に耐震シェルターの設置を支援

Q：想定してる設置件数は

A：1件を想定してます。利用状況を検証しながら拡充を検討します。

Q：補助率は

A：3分の2補助で、上限30万円です。

Q：想定される構造は

A：地震時に建物の倒壊から生命を守れる構造であれば補助します。

・道路緊急自然災害防止対策事業（継続）3億3,440万円
災害の発生の予防、拡大を防止するために実施する道路防災事業

Q：道路照明灯LED改修工事について、リース方式を検討してないか

A：現在は単年度の改修事業としてますが、リースについても今後検討します。

【教育委員会関係】

・学校給食について
令和8年4月から、国が小学校給食費の無償化を開始

Q：来年度の給食費の保護者負担はどのようになるか

A：小学生は国からの一律5,200円支給に基づき全て無償化します。幼児園と中学校は据え置きます。

Q：国の単価に合わせた場合、給食の質が下がることはないか

A：国の単価だけでは不十分なため、市が一般財源を投入し、今の美味しさと質を維持します。

Q：来年度の米の調達価格の見通しは

A：10kgあたり8,283円程度で、1.24倍ほど上がると見込んでます。

・奨学金支援補助金（継続）801万円
市内で働く人材の確保につなげるため、経済的負担を感じている若者の奨学金の返還を支援

Q：対象者の状況と、増額予算で足りるか

A：約30名程度の申請があり、来年度も同数を見込んでます。

Q：潜在的な対象者への周知方法は

A：成人式や商工会を通じてPRしてます。

・医療的ケア看護職員配置事業（新規）100万円
特別な医療的支援を必要とする児童が在籍する学校に、専門的な知識を持った看護師を配置

Q：看護職員配置の内容は

A：ケアが必要な児童に対し、法律改正に基づき4月から看護師を1日1回派遣するためのものです。

Q：未認定だがケアが必要な他の児童などにも対応可能か

A：ケア内容は様々なパターンがあるので、その都度検討しながら最善のケアができる方針で行きたいと考えてます。

・一時預かり事業（新規）410万円
一時的な保育が必要となる児童を対象に、保育を提供することで保護者の負担軽減などを図る

Q：リフレッシュなど私的理由でも利用できるか

A：利用可能です。

・事業者サポート補助金交付事業(継続)1,200万円
市内経済の活性化を目的に、市内事業者の活動継続サポートを本巣市商工会と連携し実施

Q：ガソリン代高騰などで困っている業者への救済策はあるか

A：物価高騰対策として行っており、燃料高騰等にも柔軟に対応します。

【総務部関係】

・市営バス運行事業(継続)3,741万円
通院や日常の買い物、公共施設の利用などの市民ニーズに対応するため、市営バスを運行

Q：高いコストがかかる現状をどうどう変えるか

A：AIオンデマンドやライドシェアについて研究しており、令和9年度に実証実験したいと考えます。

Q：根尾地域の車両を小型化するなどの調整はしないのか

A：数年先の車両更新時に、より小型の車両への変更を予定しています。

・防犯カメラ設置事業補助金(継続)51万円
犯罪のない安全で安心なまちづくりを推進するため、防犯カメラを設置する自治会に補助金を交付

Q：設置場所は自治会で自由に判断できるか

A：自治会からの要望に基づき、自治会内で場所を決定してます。

【企画部関係】

・移住・定住促進事業(継続)4,706万円
定住人口の増加などを目的に、住宅取得や空き家の改修・家財道具処分費などに係る経費に対して補助

Q：過去3年間の実績の推移は

A：補助金を活用された方は令和5年度に121件、令和6年度に135件、令和7年度に124件です。

・生成AI活用事業(新規)226万円
業務の効率化、作業の負荷軽減及び業務品質向上を目指し、生成AIの利用環境を構築

Q：3種類の生成AIのトライアルを行ったが、どれを活用することとしたか

A：職員へのアンケート結果などを考慮し、エクサベースの採用を考えてます。

【水道環境部関係】

・真正ストックヤード駐車場整備事業(新規)890万円
ストックヤード開放日の渋滞緩和を図るため、寄附を受けた東側の土地を駐車場として整備

Q：新規事業の目的と渋滞解消への効果は

A：開放日の渋滞解消のため、寄付地を駐車場に整備し出入りをスムーズにします。

・下水道事業会計補助金(継続)7億4,650万円
経営基盤の安定化のため、下水道事業会計に繰り出すことで財源を確保

Q：一般会計からの補助額は下げられないのか

A：今回3,900万円減額しましたが、今後は使用料の改定を検討し収入増を考えます。

【産業経済部関係】

・農地利用最適化推進委員報酬(継続)555万円
農地の適正な利用のため活動する委員に対し報酬を支給

Q：委員の活動内容は

A：農地パトロールとともに、会議を月一回行い、遊休農地の解消に向けて取り組んでます。

・森林認証取得事業(新規)84万円
市有林でのJ-クレジット認証取得を目指し、調査業務を実施

Q：市が取得を目指すものか

A：市有林を対象とするもので、市が取得することを想定してます。

Q：どこに販売を予定してるか

A：現時点で具体的な販売先はありませんが、全国どこの企業でも販売できるものです。

Q：今回の調査に係る費用以上で販売できる見込みか

A：区域面積が600haほどあるので、1haあたり1tとすると年間600万円ほどの売上です。

○令和8年度本巣市水道事業会計予算について

Q：料金改定の効果は

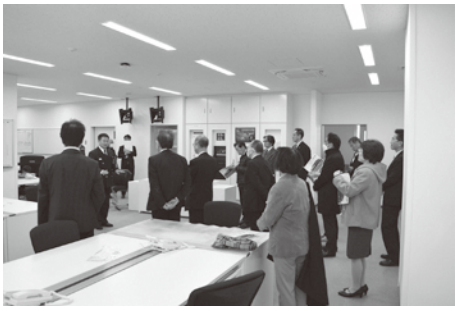
A：給水収益は1.9億円でしたが、北部地域では人口減少の影響で南部地域ほど改善に至ってない状況です。

Q：水道料金は他市町と比較してどの程度の水準か

A：県内38市町村中17番目ですが、県営受水のない団体の中では高い方です。

総務建設委員会

◎澤村　○片岡　臼井　鍔本　今枝　飯尾　翠　堀田



▲本巣消防署を視察する議員

現地視察

○本巣消防署（4月から移転）

主な質疑の内容

○本巣市景観条例の一部を改正する条例について

Q：法的拘束力はあるのか

A：法的拘束力はなく、事業者に景観に配慮してくださいと依頼をする形になります。

Q：景観計画区域で届出が必要な塀の高さの根拠は

A：建築基準法上の工作物の設置に係る基準です。

Q：前回、条例の見直しを行わなかった理由は

A：前回は見直しを検討したものの、特段見直す要件がなく、今回は10年目にあたり高速道路が通ったこともあり、見直しにいいタイミングでした。

○令和8年度本巣市国民健康保険特別会計予算について

Q：医療費のお知らせを発送する効果と費用は

A：ジェネリック医薬品の普及や重複受診予防などにつながると考えており、年間の発送費用は約243万円です。

Q：協会けんぽではデジタル化の動きもあるが、本市の今後の対応は

A：国民健康保険では医療費適正化の取り組みとして活用が挙げられているため8年度も送付しますが、今後は国の動向を見ながら検討したいと思います。

Q：歯科診療を廃止した理由は

A：経営改善計画に基づき、内科診療をメインとするために廃止しました。

Q：訪問診療の対応可能な回数は

A：現在は3名に月1回実施しており、ご希望があれば回数について対応は可能です。

Q：病院事業の企業債返済状況は

A：病院事業債そのものは令和7年度をもって終了しました。現在は過疎債が残っている状態です。

○令和8年度本巣市企業用地造成事業特別会計予算について

Q：工業団地を新たに造成する計画はあるか

A：今のところ造成計画はなく、今後も①オーダーメイド型で進める考えです。

①オーダーメイド型とは、進出する企業の要望に合わせて、土地の造成内容を個別に設計・整備する方式。

Q：改正による利用者の増減をどう考えているか
A：サービスの利用控えとならないよう、周知していきたいと思います。

Q：令和8年度は4,000円にし、9年度から廃止する計画ではなかったか
A：物価上昇などの社会情勢を鑑みて、計画を改めました。

Q：現状、対象者の人数は
A：令和6年度の支給者は累計で353人、支給額は1,450万4,000円です。

○指定管理者の指定について（本巣市障がい者就労支援センター2施設）

Q：どの程度の需要を考えているか
A：一般の事業所で受け入れが困難な重度の障がいを持つ方のセーフティネットにもなっており、継続的に就労に結び付けるといったところで、社会福祉協議会にお願いしているところです。

Q：指定管理料の基準は
A：人件費や光熱水費等の維持管理費、消耗品費の積算となります。

Q：閉鎖されたほたるから移った利用者の移動手段は
A：施設からの送迎もありますし、自転車などで自力で通われる方もいます。

Q：距離が遠くなり、困っている事例はないか
A：特に困っているという話は聞いてません。

文教福祉委員会

◎河村　○髙橋(知)　大西　髙田　髙橋(勇)　髙橋(時)　瀬川　坂下

主な質疑の内容

○本巣市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について

Q：①子ども・子育て支援制度は、令和9年度以降も税率の改正が必要となるか
A：毎年、条例改正が必要となります。

①子ども、子育て支援制度は、子育てしやすい環境をつくるために、国や自治体が行う支援のしくみ。
所得に応じ、１世帯あたり年間で約3,000円の負担額になる見込み。

Q：どのように周知するか
A：広報とホームページのほか、納税通知書等に分かりやすいチラシを選んでいる状況です。

○本巣市ねたきり老人等介護者慰労金支給条例の一部を改正する条例について

Q：金額を5,000円に引き下げた根拠は
A：ホームヘルプでの30分から1時間の身体介助などにかかる費用が、だいたい3,000円程度であることから、この金額を差し引くという考え方で設定しました。

Q：他の市町ではこういった条例をあまり施行していないのか
A：県内の現状としましては縮小や廃止の方向に進んでいる状況です。

●議員研修●

●令和8年2月2日・3日　令和7年度市町村議会議員研修「人口減少社会における地域の課題」
片岡　孝一、髙田　浩視

●令和8年2月5日・6日　令和7年度市町村議会議員研修「自治体財政の見方～健全化判断比率を中心に～」
片岡　孝一

●令和8年4月20日・21日　市長村議会議員特別セミナー（第1回）
今枝　和子、臼井　悦子

●令和8年4月20日・21日　令和8年度第1回市長村長等・議会議員特別セミナー
坂下　裕久、堀田　靖則、翠　昭博、片岡　孝一、髙橋　時男、髙橋　勇樹、髙田　浩視

一般質問

今定例会では10人の議員から一般質問がされました。
一般質問を行った議員と、その質問内容は以下のとおりです。

質問順番	議員氏名	質問内容
1	堀田　靖則	**1　ＢＭＸ（①アーバンスポーツ）を核とした街作りについて** **2　東海環状自動車道開通の好機を捉えることについて**
2	翠　　昭博	**1　本巣ＩＣ等周辺道路と企業誘致に伴う道路整備との将来交通量について** 2　生活道路を含む通学路の安全確保について 3　市施設の有効活用について 4　議員が多くの市民の思いを聴く仕組みについて 5　総合型地域スポーツクラブの位置づけについて 6　もとまるパークの指定管理について 7　市のブランド力の強化について
3	髙橋　知子	**1　②フレイル対策について** **2　見守り当番の担い手不足と参加しやすい仕組みづくりについて** **3　学校と地域の関係性について**
4	飯尾　龍也	1　国民健康保険について **2　本巣市の盛土について** 3　道路交通法改正について
5	片岡　孝一	**1　高齢者移動支援の現状と今後の方向性について** **2　移住・定住と少子高齢化対策の取り組みについて** 3　本巣市の地域経済・産業の活性化について **4　地域コミュニティの活性化・持続可能な地域づくりについて**
6	髙橋　時男	**1　住宅地の擁壁について** **2　しんせいほんの森について** **3　旧真正分庁舎周辺の環境整備について**
7	澤村　　均	**1　飲料水の安全性について** 2　近年の水不足と自然環境について 3　もとまるパーク利用者の安全対策について 4　③マルモビの活用について
8	河村　志信	1　移住定住の促進について 2　本市の自治会の現状について **3　本巣市のあるべき景観実現への計画は**
9	鍔本　規之	**1　根尾診療所の廃止について**
10	坂下　裕久	**1　ふるさと納税、企業版ふるさと納税の活用について**

※太字・下線の項目は、各議員の一般質問記事にて掲載のある項目です。

①アーバンスポーツ：BMXやスケートボードなど、街中で行われるスポーツ。
②フレイル：加齢によって体や心が弱くなり、要介護の一歩手前の状態のこと。
③マルモビ：平常時も災害時も役に立つ「多目的な災害対応車両」。

二次元コードから動画が見れるも!

一般質問 Q&A 10人が一般質問に立つ

堀田靖則

Q BMXを核とした街作りについて

本巣市出身のBMX選手が世界大会で活躍してます。この機運を逃すことなくBMX（アーバンスポーツ）を核とした、例えばうすずみ温泉に初心者用パークを併設するなど尖った街作りを提案します。

Q1 BMXの施設を整備するにはどのような条件が必要か

A1 民間からBMXの整備・運営に関する提案があれば必要な支援の提供を考えます

髙木・教育委員会事務局長

Q2 「BMXパークを兼ね備えた温泉施設」にするための調査の考えは

A2 利用者のニーズ把握や施設建設、維持管理なども含めて慎重な検討が必要です

瀬川・産業経済部長

Q 東海環状自動車道開通の好機を捉えることについて

本巣ICや本巣PA周辺で、企業誘致・観光事業が飛躍するチャンスです。

Q1 企業への能動的な誘致活動をする計画は

A1 本巣IC周辺では過去3年で47件の問い合わせがあり、7件の企業が進出予定です

瀬川・産業経済部長

民間の情報では、もとまるパーク周辺の産業誘導地区も、徐々に埋まりつつあるとのことです。

Q2 観光事業を飛躍させるための計画は

A2 西美濃広域観光推進協議会と連携し、点と点を線で結ぶ観光政策を図ります

翠 昭博

Q 本巣IC等周辺道路と企業誘致に伴う道路整備と将来交通量について

新たな企業誘致をするための道路整備とコンパクトシティ①の道路整備は、まちづくりのベースと考えるため。

Q1 モレラ周辺の交通渋滞が、将来顕在化すると考えるが、市長の考えは

A1 道路整備や公共交通への転換などは交通マネジメントが不可欠です

藤原・市長

本巣IC周辺は、広域交通の結節点で大規模商業施設が立地する区域では、市内外から交通が集積します。交通需要予測に基づき、周辺道路網の整備を計画的に進めており、今後県道長良糸貫線の整備完了や、企業誘致の進展により交通需要の一層の増加が見込まれます。本巣PAへのスマートIC設置は、交通流の分散と利便性向上の両面から有効な選択肢になり得ると認識してます。

Q2 企業誘致に向けた道路整備と、都市計画マスタープラン見直しの現状は

A2 土地利用方針を見直し、新たな産業用地の確保などを図ります

高橋・都市建設部長

道路整備では、拡大する産業誘導地区へのアクセス強化などに着手し、マスタープラン見直しではその地区の拡大を含む土地利用方針の見直しを図ります。

用語解説

①生活に必要な様々な機能が集まった、効率的で住みやすいまちを目指す考え方

髙橋知子

Q フレイル対策について

Q1 市の後期高齢者医療費、介護保険給付費および市の繰入金などの負担額の推移は

A1 令和6年度の自己負担分を除く後期高齢者医療費は約48億、市の負担額は約3.8億

林・健康福祉部長

介護給付費は約30億、市の負担額は3.7億、元年度よりそれぞれ約7億、約2億の増加。

Q2 フレイル対策事業の位置づけは

A2 介護給付費抑制にもつながる重要な施策

ぬくいの湯やタクシーの利用助成など。

Q 見守り当番の担い手不足について

Q1 今後、市は見守り活動をどう支えていくのか。参加したくなる仕組みを検討してはAIカメラなどの技術的な見守りも活用し、より安心できる環境を作ります

髙木・教育委員会事務局長

「ながら見守り」は地域全体で子どもを育てる文化へと発展させていくべきです。

Q 学校と地域の関係性について

Q1 もっと保護者が学校のサポーターとして位置づいていく仕組みはできないか

A1 校長会と連合PTAが協働し保護者も当事者となって「みんなの学校」を作ります

川治・教育長

Q2 保護者や地域の方も共に創り上げていける学校の今後の方向性は

A2 学校運営協議会を中核に大改革していきます

一般質問

飯尾龍也

Q 本巣市の盛土について

Q1 盛土がある場所を把握しているか

A1 農地への復元が行われてないまま盛土状態が続いてる違反転用が1件あります

瀬川・産業経済部長

この事案は、平成17年4月20日に、数屋地内の農地において、砂利採取を目的とする一時転用の申請が提出され、その後、平成17年7月14日付で岐阜県知事から転用許可がなされました。転用許可期間は1年間であり、転用期間が終了したにも関わらず適正な農地復元は行われず、現在に至るまで盛土状態が継続してます。

Q2 どのような対応をしているか

A2 平成18年10月30日付で、岐阜県知事宛に違反転用事案報告書を提出してます

平成19年2月から平成20年11月までに岐阜県知事から砂利採取事業者に3回の勧告書が発出されましたが、再三の指導にも関わらず農地復元が進まない状態が続いてます。その後、砂利採取事業者との連絡が途絶えてしまい、事態の改善に向けた対応が非常に困難な状況になってます。

※他にも、「国民健康保険について」「道路交通法改正について」を質問しました。

片岡孝一

Q 高齢者移動支援の現状と今後の方向性について

高齢者が増えていく中で、高齢者を支援していくために。

Q1 運転が困難な高齢者に対する、通院、買い物支援など、移動手段の支援体制は

A1 市営バスの運行に加え、交通系ICカードへのチャージ助成を行っていきます

村澤・総務部長

4月以降、根尾分庁舎から本巣地域南部への往復バスの運行を開始します。

Q 移住・定住と少子化対策の取り組みについて

人口減少していく中で、住みやすい本巣市を築いていくために。

Q1 少子化対策・子育て支援・子育て世代が定住したくなる教育のあり方は

A1 学校が楽しい・心地いい・安心という環境をつくり、移住・定住につなげます

川治・教育長

今後も、真に子どもを真ん中に据えた子どもが主語の教育を推進し発信し続けます。

Q 地域コミュニティの活性化・持続可能な地域づくりについて

家族や地域が助け合って、幸せな家族環境を作るために。

Q1 移住者と在住者の交流促進の取り組みは

A1 補助金を交付し、持続可能な地域作りを促進したいと考えます

村澤・総務部長

髙橋時男（本巣自由の会）

Q 住宅地の擁壁について

Q1 住宅地の安全性に問題のある擁壁についての認識と市の現状は

A1 現時点で、本市において危険な擁壁の報告や相談は把握してません

高橋・都市建設部長

近年の気候変動などによる影響を踏まえると、住宅地の安全対策の一層の強化が不可欠と認識してます。

Q しんせいほんの森について

Q1 30周年記念事業の計画は

A1 年間を通して利用者の方々に参加していただける事業を計画してます

髙木・教育委員会事務局長

令和8年4月29日の開館記念日には、絵本作家「かつらこ」氏を招き、ワークショップを計画してます。また7月には「おはなし広場」、12月には「えいごの絵本おはなし会」などを予定してます。加えて、糸貫公民館図書室では読み聞かせイベント、根尾公民館図書室では宇野千代氏の作品コーナーを設置予定です。

Q 旧真正分庁舎周辺の環境整備について

Q1 旧真正分庁舎の利活用については

A1 空きスペースの利用については、関係部局・機関と調整し利用方法を検討します

村澤・総務部長

令和8年4月から4つの土地改良区の事務局、4つの福祉団体事務局が事務所として利用するための移転準備を進めてます。

一般質問

澤村 均（日本共産党）

Q 飲料水の安全性について

Q1 糸貫川における重油の流出について、その後の処置と結果は

A1 岐阜土木事務所や周辺市町に協力を要請し、流出拡大防止措置を講じました

青木・水道環境部長

水路及び糸貫川に直ちにオイルフェンスを設置し、油の流出拡大を防ぎました。

Q2 このような事故は過去にもあるのか

A2 毎年数件発生してます

比較的大きな事故は、平成30年に長屋地内でハウスからA重油の流出事故がありました。

Q3 今後の対策は

A3 JAを通して農業用施設の適正管理を注意喚起しました

Q 近年の水不足と自然環境について

Q1 水生生物の生態系調査の経過は

A1 平成20年度から実施し、市内の根尾川や支流で種類や個体数の把握に努めてます

青木・水道環境部長

Q2 今後の調査計画や対策は

A2 可能な限り継続し、少なくとも隔年で実施します

Q もとまるパーク利用者の安全対策について

Q1 駐車場を増設する考えはあるか

A1 新たなにぎわい創出を目指し、駐車場の確保も含め、総合的に計画していきます

高橋・都市建設部長

河村志信

Q 本巣市のあるべき景観実現への計画は

「本巣市景観計画」の改訂に当たり、本巣ICやもとまるパーク、新庁舎周辺における景観変化への基準が見直しとなりました。その中の一項には「太陽光発電設備の設置」に対する基準も設けられ「敷地境界からできるだけ後退させる」「周囲から目立たない場所に配置する」ともあります。

Q1 セントラルゾーンとなる庁舎前の太陽光発電設置計画に対する景観への配慮は

A1 太陽光発電システムを設置することに決定したものではありません

村澤・総務部長

今回の調査では、調整池の有効活用の一つとして、太陽光発電など再生可能エネルギーを導入した場合の事業者ニーズを調査したもので、設置を決定したものではありません。

Q2 放置された空き家や田畑、道端や用水沿いの雑草などへの対応は

A2 防災・防犯や生活環境の保全の観点からも景観の維持に取り組んでいきます

高橋・都市建設部長

空き家や耕作放棄地、道路端や河川の法面、空き地に繁茂する雑草などは、地域の景観を損なうだけでなく、防災や防犯上の懸念となるものであり、景観維持の観点からも重要な課題となります。

鍔本規之

Q 根尾診療所の廃止について

財政状況が年々厳しくなっていくなか、本当に必要な市民サービスを確保していくため、根尾診療所の廃止を提案します。

Q1 経営改善に向けた改革の進捗状況と改善効果は

A1 一般会計からの繰入金を令和7年度から1100万円縮減しました

加納・市民部長

Q2 入院・手術施設などはいつ、どのような理由で廃止したのか

A2 入院患者が減少し経営を圧迫したため、平成18年4月から廃止しました

Q3 現在も診療所を継続しているのはなぜか。また、歯科診療はなぜやめるのか

A3 入院診療の検討の中で、地域のかかりつけ医として運営することを決定しました

診療所の経営改善に向けて、内科診療を柱とした診療体制とすることで、診療所を効率的に運用し、継続して根尾診療所を運営するため歯科診療をやめるものです。

Q4 廃止した場合、北部住民が通院するための樽見鉄道利用への助成は可能か

A4 新たに市営バスを運行予定ですが、樽見鉄道の運賃助成についても検討します

村澤・総務部長

Q5 根尾診療所の廃止について、市の考えは

A5 経費を抑えながら、地域のかかりつけ医として運営を行っていきたいと考えます

加納・市民部長

一般質問

坂下裕久

Q ふるさと納税、企業版ふるさと納税の活用について

持続的な財源確保と地域活性化を図るため、ふるさと納税、企業版ふるさと納税のさらなる活用は有効な手段と考えられます。財源の確保により、本市独自の魅力の創出を図り、選ばれる地域にならなければなりません。特に企業版ふるさと納税は、各事業の充実につながる可能性が期待されます。民間の知見や資金の活用により、新たな施策展開の契機となることができます。そして魅力発信や関係人口の創出といった側面も見込まれます。こうした観点から、寄付の拡大が事業の創出と推進にどのように寄与し得るのか、現状の取り組みと課題を整理し、今後の方向性について検討していかなければならないと考えます。

Q1 ふるさと納税の中間支援業者との打ち合わせ状況は

A1 前月前期の対比を元に広告戦略、年間を見通し、戦略的に見直しを実行します

林・企画部長

Q2 企業版ふるさと納税の今年度の申し込み件数と総額は。また、周知促進の考えは

A2 令和7年度は物納含め10社から約1708万円です

金融関連会社4社と、寄付先として本市を紹介するマッチング支援に関する業務連携を締結し、本市を知ってもらう機会を増やすことで寄付金の獲得に努めてます。

議員活動日誌

日にち	場所	会議名等
2月3日(火)	旧真正分庁舎	もとす広域連合　議会定例会(開会)
2月5日(木)	都市センターホテル	第131回共済会代議員会
	旧真正分庁舎	もとす広域連合　療育医療衛生常任委員会
2月6日(金)	旧真正分庁舎	もとす広域連合　老人福祉常任委員会
2月9日(月)	旧真正分庁舎	もとす広域連合　総務介護常任委員会
2月10日(火)	西濃環境整備組合	西濃環境整備組合　議会定例会
	本巣市役所	議会運営委員会
2月13日(金)	旧真正分庁舎	もとす広域連合　議会定例会(閉会)
2月18日(水)	本巣市役所	全員協議会
		本会議(開会)
2月24日(火)	本巣市役所	本会議
		議会運営委員会
		予算決算委員会
3月4日(水)	本巣市役所	本会議(一般質問)
3月5日(木)	本巣市役所	本会議(一般質問)
3月9日(月)	本巣市役所	文教福祉委員会・予算決算委員会
3月10日(火)	本巣市役所	総務建設委員会・予算決算委員会
3月13日(金)	本巣市役所	予算決算委員会
3月15日(日)	下野市	下野市制施行20周年記念式典
3月17日(火)	本巣市役所	議会運営委員会
3月18日(水)	本巣市役所	全員協議会
		本会議(閉会)
		議会だより編集特別委員会
3月22日(日)	下野市	下野市天平の桜歌会
3月26日(木)	本巣市役所	議会だより編集特別委員会
4月2日(木)	本巣市役所	議会だより編集特別委員会
4月7日(火)	淡墨公園	淡墨桜感謝祭
4月9日(木)	本巣市役所	議会だより編集特別委員会
4月23日(木)	静岡市	第109回東海市議会議長会定期総会

議会開会のお知らせ

◆令和8年6月4日(木)(予定)

定例会の詳細確定後ホームページに掲載します。議会のホームページは左からアクセスできます。

議会だよりへの意見を募集します!

右の二次元コードからアンケートへのご協力をお願いします。

特集

本巣市の新しい顔、セントラルゾーン

本巣市では現在、令和9年度に向けて都市計画マスタープランの改定と立地適正化計画の策定作業が行われており、今議会の予算決算委員会でもその内容について議論となりました。

都市計画マスタープランと立地適正化計画は、将来のまちづくりの姿とその実現のための基本方針を示す大切な計画です。その中でも重要なキーワードが**「セントラルゾーン」**です。今回は本巣市のまちづくりの中核となっていく**「セントラルゾーン」**を特集していきます。

●本巣市のセントラルゾーンとは?

市役所新庁舎や本巣PA周辺のエリアで、人口重心の近くに位置しているだけでなく、地勢的にも市の中心地点にあたり、主要な幹線道路や公共交通機関が交わる場所で、これからのまちづくりの中心です。

●どんな役割を期待されているの?

都市機能の集約：市役所のような行政機能だけでなく、商業施設や医療施設など、まちに必要な様々な機能が集まる場所

防　災　拠　点：災害が起こった時に、市民の安全を守るための重要な拠点としての役割

賑わいの創出：企業を誘致したり、人が集まるイベントなどを開催したりして、活気あふれるエリア

●セントラルゾーンに関わる主な事業

都市計画マスタープラン策定調査
令和7年度 1,083万円、令和8年度 2,178万円

都市計画マスタープラン改定と、立地適正化計画策定に向けた調査として
・本庁舎を中心として都市づくりの検討
・用途地域特定用途制限地域の見直し
・市民や中学生に対するアンケート調査
・交通量調査
などが行われます。

庁舎周辺まちづくり調査
令和8年度 1,115万円

セントラルゾーンの整備を土地区画整理事業としての実施の基礎調査として
・土地の区画
・道路整備
・公共施設の配置
など具体的な計画の基礎となる情報を収集・分析します。

本巣PA周辺施設整備・運営事業
令和7年度 1,063万円

東海環状自動車道本巣PAに隣接するもとまるパークは、本巣PAと連結することで広域的な利用者の増加が見込まれます。現状の公園と差別化を図り、エリア全体の更なる魅力の向上を図ることができます。

セントラルゾーンは、地域間連携の拠点となる大きな可能性があると思います。機能を集約するだけでなく、既存の生活拠点を活かした「コンパクトシティ+ネットワーク」を目指し、市民にとって魅力的で持続可能なまちづくりを進めていきます。

議会だより編集特別委員会
◎髙橋知子　○髙橋勇樹　瀬川照司
翠　昭博　坂下裕久